

世界遺産登録 再チャレンジ

平泉の文化遺産は、平成23年の世界遺産登録を目指して、再チャレンジがスタートしました。このコーナーでは、登録に向けた取り組み状況についてお知らせしていきます。

第10回 「再推薦」への取り組みを振り返る

昨年7月の世界遺産委員会で「平泉」が登録延期の決議を受けて1年が過ぎました。文化庁は「延期」の決定直後に平成23年の世界遺産委員会での再審査を目指すことを表明し、そこから「平泉」登録再チャレンジの取り組みがスタートしたのです。

推薦書の改定・再提出に向けては、多くの課題が山積していました。特に、推薦書の内容が重要であることはいうまでもありません。一方で、1年でも早く登録に持ち込むことも強く望まれていました。21年9月に推薦書暫定版を提出し、翌22年2月までに正式の推薦書を提出すると、23年の世界遺産委員会で審議となります。文化庁が表明した再推薦の計画は、物理的に実現可能な最短コースなのです。

昨年9月以来、「推薦書作成委員会」が6回開催され、また国際専門家会議も2回開かれました。その結果、資産全体の考え方を「文化的景観」から「連続性のある推薦資産(シリアルノミネーション)」にとらえ直し、主題も「浄土思想を基調とする文化的景観」から「浄土世界」へと改められることになりました。その上で、

評価基準の適用についても、()人類の価値観の重要な交流、()人類の歴史の重要な段階を示す顕著な見本、()顕著で普遍的な価値を持つ生きた伝統・思想・信仰、の3つに絞り込まれてきました。

「庭園の比較研究」は、昨年の世界遺産委員会で決議された再審査の第一条件でしたが、今年5月に「浄土庭園に関する国際研究集会」が奈良文化財研究所を会場に開かれ、平泉の浄土庭園群は「その典型性・代表性などから他に類例を見ない傑出した事例である」と高い評価が得られています。

なお資産の境界線改定(資産の見直し)も、再審査の条件の一つでした。4月には「現時点で価値証明が確実な5資産による登録、その他の資産は拡張により段階的に登録」という方針が文化庁から示され、関係自治体の了承も得られました。多くの専門家や関係者の協力を得て一つ一つの課題が解決しつつあります。

9月には、推薦書の暫定版が提出される予定です。現在、文化庁を中心に推薦書の改定作業が急ピッチで進められています。

平泉を掘る

祇園 遺跡は、平泉字祇園・樋渡・新井田に位置します。本年度は八坂神社の北約100m付近を調査し、12世紀の溝1条、時期不明の掘立柱建物1棟、溝2条、土坑3基、柱穴46個が見つかりました。

掘立柱建物は、西側が調査区外のため、全体の大きさは分かりませんでした。東西3m以上、南北5.2mの大きさです。柱の直径は20cm前後、柱を立てるために掘った穴が直径約40cm、深さ50cm前後ありました。

12世紀の溝は、幅90cm前後、深さ30cm前後の大きさです。長さは8.6mほどで、北北西-南南東方向に延びています。この溝の年代は、埋土から12世紀の「かわらけ」と愛知県常滑産の陶器片だけが出土しているので、12世紀と判断しました。なお、溝の南側延長線には八坂神社が位置しています。

さて、この溝は一体何なのでしょう？ 埋土に砂が含まれていないので、水路ではなさそうです。ほかに道路側溝や区画溝が考えられます。今後、隣接地の調査が行われた際に、今回の溝と対になる溝が見つ

発掘最前線⑦

一 祇園Ⅱ遺跡第5次調査

れば、道路側溝の可能性がでてきます。逆に対になる溝が見つからず、隣接地に溝と同時期の建物等が見つかった場合は区画溝の可能性が出てきます。今後の調査に、期待したいと思います。

平泉文化遺産センター 島原弘征



調査区全景(斜めに見える溝が12世紀の溝)



町観光大使、富岡八幡宮神輿総代連合会長 高橋富雄さん

江東区・富岡八幡宮神輿総代連合会 高橋さんが会長就任
町観光大使も務める東京都江東区・富岡八幡宮神輿総代連合会の高橋富雄さんがこのほど、同連合会会長に就任しました。高橋さんは同連合会に所属して34年目。平成7年から、当町への水かけ神輿の指導で中心的な役割を担ってきました。高橋さんは「連合会長として、平泉の神輿をますます盛り上げるために力を尽くしたい」と抱負を述べます。



【新任】石川長善さん(平泉西風)

人権擁護委員に 石川長善さん
任期満了に伴う人権擁護委員に石川長善さんがこのほど、法務大臣から委嘱されました。任期は平成21年7月1日から3年間です。

発掘調査現地説明会

柳之御所遺跡と無量光院跡の本年度発掘調査の成果について公開します。

日時…8月22日(土)
13:00~ 柳之御所遺跡
14:15~ 無量光院跡
場所…柳之御所遺跡発掘現場(柳之御所資料館西側) 引き続き無量光院跡発掘現場

駐車場は柳之御所資料館をお使いください。小雨決行します。

問い合わせ先
平泉遺跡群調査事務所 ☎46-2820
平泉文化遺産センター ☎46-4012



町長(右)に供養願文Tシャツの作製意義を伝えた千葉さん(右から2人目)らプロジェクト関係者

Tシャツを町長に贈呈。町長は「供養願文に記されている平泉の平和思想を見てもらうのは意義深いこと」と歓迎しました。Tシャツの販売で得た収益は、平泉文化を紹介する英語の本出版に充てられます。

平和への願い 世界へ発信

プロジェクト関係者が町長に作製意義伝える

当町と一関市の通訳ガイド有志らによる中尊寺落慶供養願文Tシャツプロジェクト(千葉敏明代表)関係者が7月23日、町長を表敬訪問し「平和の願いを世界に届けるきっかけにしたい」と、同Tシャツの作製意義を伝えました。同願文を英語に翻訳した千葉口一ズマリさん(5区)が代表し、

力作がズラリ

第51回水道週間児童作品展

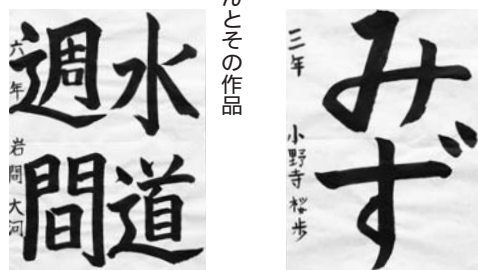
水道週間の一環として6月22日から28日まで、第51回水道週間児童作品展が役場で開催されました。

(平泉)阿部廉(長島) 畠山駿
(同)千葉清香(同) 八島千優
(舞川)

この作品展は、平泉小学校、長島小学校、そして平泉の水道が一部利用されている一関市舞川地区の舞川小学校の児童を対象に行われたもので、3年生が「みず」、6年生が「水道週間」と題した力作合わせて109点が展示され、このうち30点が入賞しました。

【6年生の部】
▲特選Ⅱ 岩間大河(平泉)
▼金賞Ⅱ 佐々木亮(平泉) 千葉真璃(長島) 多門真純(舞川)
▼銀賞Ⅱ 境楓恋(平泉) 瀧澤志歩(長島) 千葉香奈子(舞川)
▼銅賞Ⅱ 佐藤蓮(平泉) 岩淵優海(長島) 千田到(舞川)
▲努力賞Ⅱ 原田凌晟(平泉) 小野寺春香(同) 志羅山ひかり(同) 猪股可涉(長島) 千葉朱里(舞川)

【3年生の部】
▲特選Ⅱ 小野寺桜歩(平泉)
▼金賞Ⅱ 千葉瀬衣羅(平泉) 尾川喜孝(長島)
高橋詩織(舞川)
▼銀賞Ⅱ 小川大貴(平泉) 千葉奈々実(長島)
▼銅賞Ⅱ 佐々木真緒(平泉) 岩淵由希子(長島) 小野寺優雅(舞川)
▲努力賞Ⅱ 阿部竜也(平泉)



▲特選の岩間大河さんとその作品

▲特選の小野寺桜歩さんとその作品